

HARLEM

HARLEM 15th ANNIVERSARY

SPITEM OUT!
"It's Absolutely Raw!"

MONTHLY
MAGAZINE

This Magazine gives y'all
Hip Hop Headz the Real
Words from the Real Scene...

TAKE FREE

www.HARLEM-co.jp

09

September
2012

Volume 054 - Issue 181



HARLEM 15TH ANNIVERSARY MIX CD

FEATURE INTERVIEW: DJ HAZIME, WATARAI, HAL, SAH

HARLEM

SPITEM OUT!
"It's Absolutely Raw!"

MONTHLY
MAGAZINE

This Magazine gives y'all
Hip Hop Headz the Real
Words from the Real Scene...

TAKE FREE

www.HARLEM-co.jp

09

September
2012

Volume 054 - Issue 181



COVER INTERVIEW:

DJ WATARAI

"PUNCH OUT !!! / MONSTER"



PITBULL



SUMMER
SONIC

2012

2012. 8. 18. SAT & 19. SUN

at

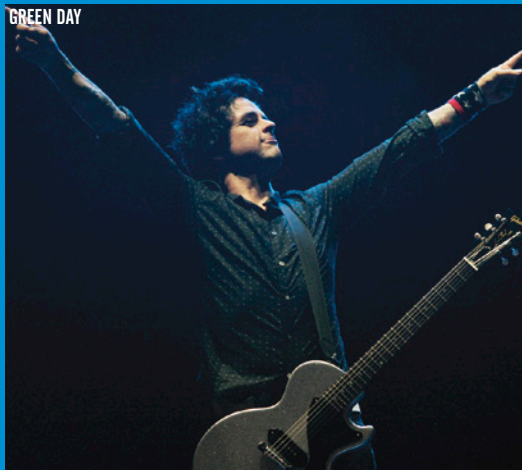
TOKYO: QVCマリンフィールド&幕張メッセ
OSAKA: 舞洲サマーソニック大阪特設会場



RIHANNA



JAMIROQUAI



GREEN DAY



ADAM LAMBERT



NELLY FURTADO



KESHA



ALEXANDRA STAN



DJ KOMORI



GOTYE



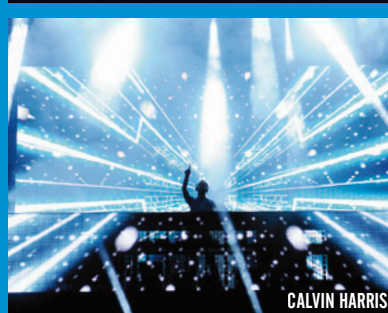
MAC MILLER



PASSION PIT



AZEALIA BANKS



CALVIN HARRIS



(C)SUMMER SONIC 2012 All Rights Reserved.



☆Taku Takahashi (m-flo, block.fm)



HYDRO DA HERO

INTERVIEW: DJ WATARAI “PUNCH OUT !!! / MONSTER”

Cover & Interview Photo by SHINICHIRO SAITO

『トラックでもDJでも必要なのはとにかく練習と研究、それから人との繋がりでですね…』

弛まぬ努力と惜しまぬ勉強心の上で、輝きを増す才能とセンス。どの世界に生きたとしても、“第一戦”に立っている事を想像させるインタビューは必読。

●WATARAIさんには、HARLEMのオープン当初からずっとレギュラーパーティーをやっていたと思いますが、長年に亘り第一線でやっている中で意識していることはありますか？

DJに関しては元々は好きで始めた事だし、“HONEY DIP (※1)”が始まった頃までは、単純に『クラブでDJをしたい』っていう気持ちだけでやってました。それまでも小さいレギュラーパーティーをやっていたけど、“HONEY DIP”が自分で初めて持った大きいレギュラーなんです。それまでは単に『HIP HOPとかダンスミュージックが好きだから、それをDJとしてクラブで表現したい』っていう思いの延長でやってきて、対お客さんっていうことはあんまり考えてなかったし、小さいクラブでやってたっていうのもあるけど、対お客さんっていうよりは自分の表現力を見せる場だったんです。でも、“HONEY DIP”にはホントに毎週何百人ってお客さんが入ってたし、500人、600人、1,000人って増えていくと、その中には色んなお客さんもいるだろうし。そういうところから段々、お客さんに向けてDJをするっていうふうになったんですね。それがずっと今まで続いてきて、この10年、15年は気持ち的にも変わらずにやってきてます。でも、“The Finest (※2)”をやるようになった頃から、若いDJたちもどんどん出てきて、いい意味で競争が生まれるようになってるし、“PUNCH OUT!!!”をやるようになってからは自分がリーダーとして引っ張っていかなきゃいけない立場になったので、下からの追い上げにも勝たなきゃいけない状況ではありますよね(笑)。まあ、勝ち負けではないけど、第一線でやる以上、『やっぱりDJ WATARAIはいいな』って思われてなきゃいけないと思うから、そういう部分を守りながらやっていかなきゃとは思うようになりましたね。

●HARLEMのレギュラーDJの中でも、WATARAIさんは特に現場と制作を上手く両立していると思います。

他のDJの人ってあんまりプロデュースとかには興味がないのか、なかなか制作をしたいっていう話を聞かないけど、俺はたまたま同時にやってきちゃってるから、特に両立しているように見えるだけだと思うんですけどね。KOMORIくんとかHALとかやってるDJの人はもちろんたくさんいるけど、特に若い人たちからはあんまり『トラック作ってます』って話は僕はあまり聞かないですね。昔はよく『機材は何を使ってるんですか？』とか『どういうふうにしたら仕事が取れますか？』とか色々聞かれたけど、最近はそういうのがあまりないですね。

一昔前は、HASEBEくんとかHAZIMEとか俺とかみたいに、DJもやってトラックも作って人が結構いたから、そういうのを見て育った今の30歳オーバーくらいの人たちはやってる人は多いのかもしれないけど、その世代から下の人たちからは、きっかけがないのか興味がないのか、あまり聞かないですね。結局、現場でDJをしている人がトラックを作っても、リリースまで持っていける関係性がなくなっちゃってるのも、若い人が制作に惹かれない原因かもしれないですね。トラックを作ったからと言って、その先はどうしていいか分からないというか。昔みたいに、クラブにアーティストが来てたりレコード会社の人がいったりしてたら、『実は僕もトラック作ってるんですよ。デモ聴いて下さい』って渡せるきっかけができてたかもしれないけど、今はそれが無いから、若い人たちはやろうという気にもならないかもしれませんね。たまたま地方にDJに行った時なんかは、『これ聴いて下さい』って渡されることはあるけど、それもDJなのかトラックメイカーの人なのか分からないし、東京では本



当にあまりないですね。ただ、DJだけを熱心にやる人が増えたって言うのはあると思うし、それは凄くいいことだとも思っています。

●WATARAIさんは一見マイペースで、競争心を表に出さず、でも、陰でしっかり努力をしているように見えますが。

DJとしての表現力はもちろん一番大事だと思うんですけど、レギュラーに関しては毎週やるものだから、毎週来てくれるお客さんに対してって考える部分が今までは大きくて。でもDJ全体として見ると、自分の表現をしっかりしなきゃいけないとも思うし、どこかの現場に行っても自分がDJしている時間帯が一番盛り上がりて欲しいっていう思いもありますよね。自分よりいいプレイをするDJがいたら自分には仕事来ないわけだから、そこって重要だと思うんですよ。現場現場で一番いいと思われるから次があるんだと思うし、そういうところは気持ちとしても変わらない部分ですね。好きなことをするんだったらやっぱり負けられないし、勝ち負けでやってるわけではないけど、そういうところは絶対にあると思います。最近では面白いDJがいっぱい出てきてるし、勢いがあるDJもたくさんいるからいい刺激になってます。そういう人たちにはもちろん勝たなきゃいけないけど、勝ってどうこうっていうんではなくて、本当にいい刺激になって『もっと頑張らなきゃな』って思えるからいい励みになってます。全くネガティブにはなく、凄く嬉しいし有り難いって思いますよね。

●現場と制作の両方とも第一線でやっているWATARAIさんは、本当に凄イと思います。

逆に、両方とも一線でやれているからいいんだって思うんですよ。意識的には全然別物なんですよ。クラブでのDJはお客さんに向けてっていう部分が大きいし、制作もリスナーの人に向けて作っているのは同じなんだけど、作っている時は目の前にオーディエンスはいないわけだから、自分を表現しようっていう気持ちの方が大きいんです。DJはLIVEだと思うけど、制作は後々まで残るものだから、そういう部分でも自分の意識が全然違ってくるし。DJはその一瞬に懸けて、そこにいるお客さんを楽しませる。制作は10年後20年後に残るものを作ってるっていう点が一番違いますよね。

昔、KENSEIくんから『DJは残らないけどトラックは残るから』って言われたんですけど、その言葉で気付かされたというか、『残ってる凄いな』って思ってた。それで制作もちゃんとやろうかなって思ったんですよ。制作をしてて煮詰まった時にクラブでDJしてかけてた曲から『こういうのいいな』って思うこともあったり、逆に、制作する時のコード感なんかはクラブでDJする時に役立っていたり。流れる的にコードの感じが『なんか気持ち悪いな』って思う時はやめたりとか、選曲の展開の付け方とか、制作をやってるからならではのDJの仕方が自分の中にあったりして。DJとして新しい音楽に常にアンテナを張っているからこそできるトラックもあるし、何となくお互いがリンクしてるから、それは有り難いって思います。普段はDJをするために新しい音楽を探してるけど、そうやって探すことによって制作に関するアイデアも拾ってこれたりするから、トラックを作る時には『あの時のあの曲のあのアイデアがいいな』ってどんどん自分の中で生まれてきて、それを形にするだけなんです。そういうところがあるから、もしかしたら他のトラックメイカーさんとは違う雰囲気を持ってるのかもしれないですよ。そういう意味ではどっちもやめられないし、どっちも一線でやってないといけないっていうのはありますね。

●現場と制作をどのような流れで行っているのか教えて下さい。

起きてから夜までは制作をやって、夜はDJのことを考えるって感じてすかね。だいたいお昼くらいから夜の7時とか8時くらいまで制作をやったとしたら、そこから寝る時間までは新しい曲を探したりとかDJのことを考えたりして寝るっていうパターンが多いですね。今は制作が忙しいから、あんまりDJのことを考える時間を取れないっていうのはあるけど、普段はそういうサイクルで生活してます。

●5年後、10年後と将来設計をして、色々手掛けているんでしょうか？

今も昔も、そういうのは全然ないですね。常に（現状維持）って思ってます（笑）。

DJに関しては、自分がしっかり舵を取れるようなレギュラーパーティーをやりたいなって昔から思ってたけど、今は“PUNCH OUT!!!”でそれができているし。DJに関する将来の目標って、DJが巧くなるってことだけで、それしか考えてないんですよ。DJが巧くなるために何かしているっていうだけで。細かいことを言えば、HIP HOPだけだと自分的にちょっと物足りなくて。色んな音楽をDJできて自分の技術をもっと高めたっていうものがあるから、そういう意味でHIP HOP以外のジャンルのDJもしたいなってずっと思ってたけど、2年前くらいからちょこちょこそういう現場も増えてきてるし。

制作に関しては、自分で1枚のアルバムを作ってみたっていうのもあったし、アーティストのアルバムを1枚自分で手掛けたいっていうのもあったけど、そういうのも少しずつ実現はしている感じです。だから、将来的な計画を立ててっていうことはしないけど、いつどこから話が出てくるかはわからないように準備はするようにしてます。急に『アルバムを1枚作れ』って言われても、普段やらないようなPOPSなんかの依頼がきても、すぐにデモを渡せるような準備はもちろんしてます。今は音楽の流れも早いので、そういう時代の流れにすぐに応用できるように、基本的なアイディアはいっぱい持っておこうかなってというのは、常に心掛けてます。

●実際に現場の流れも時代によって変わっていると思います。

逆に、その辺のアンテナは若いDJの人たちが凄く持ってると思うんですよ。そういう若い人のDJのプレイを聴くとすぐに『今はこんな感じなんだ』っていうのが凄く分かる。でも自分がそれに全部合わせてDJするんではなくて、今まで自分がやってきたものに対して時代の雰囲気だとかを加えるだけの作業だと思っていて。今の流れに沿ったものは若いDJたちがやってくれているから、そういう人がいるお陰で凄く楽ですよ。若い人たちって凄く器用で、いい意味でデフォルメされてると思うんですよ。デフォルメって言うっちゃうと言葉が悪いかもしれないけど、『今はこれだ』っていうのがしっかり見えていて、そこを自分たちでクロースアップしてしっかり表現できているんですよ。『今ってこういう感じ』っていうのを上手く取り入れてるし、いい意味でストレートに表現するから自分から見ると凄く分かり易くて。俺の場合、海外のDJを聴いても割と似たり寄ったりに聞こえることが多いんですけど、今の若い人たちは、誰がカッコいいとか誰の何がいいとかいうのを良く理解してるんですよ。だから、海外のDJやトラックを聴いても分からなかったことが、若い人のトラックとかDJを聴いて『こういうことだったんだ』『なるほどね』っていうふうに、時代が見えるんですよ。それを見て空気を感じることができると、それをどんどん取り込んでいけるから、今は凄くやり易いですね。ベテランのDJの人なんかは、自分の中にどんどん吸収して自分のスタイルとして表現していくからどんどん深く難しいものになっていくと思うんだけど、彼らの場合は素直に取り入れて、パッと発信してくれるから、そういう意味では彼らのお陰と言っても過言ではないと思いますよ。『昔のあの感じが、今はこんな感じなんだ』っていうのが分かるから、そこに自分なりに毛を生やしていくっていう作業をただひたすらやってるだけなんです。あくまでも自分のやっているものの延長線に新しいものをどんどん付け足していくっていう作業だから、そういう部分は昔から変わらないですね。

●第一線にいるためには、人付き合いも大切ではないかと思ひます。

元々はアメリカのダンスミュージックに影響を受けて始めてるし、自分で作り上げてきた部分や努力した部分ももちろんあるけど、今自分がやっていることの一歩の刺激になっているものって、やっぱり人から受けているんだと思うんですよ。身近な人というか、今まで一緒にやってきた人から受けている刺激が一番大きいし、それって自分が作っているものの大部分を占めてるから、そう考えると人付き合いが一番大事ですよ。制作に関してもそうだけど、DJの方が特にそうで、

色んなDJの人とリンクしたりプレイしたり話したり、そういうところから受けるインスパイアって物凄く大きいし。そうやって自分の音楽ができてるんだなって思ひますね。海の向こうのものから受ける刺激より、自分の身近な人から受ける刺激の方が遥かに大きいから、なるべく色んな人のDJを聴きたいなって思ってます。色んな現場に行ったり、色んなものを見たり聞いたりすることって、こういう仕事をするうでは物凄く大きいんだなって思うんですよ。本当に凄イ天才みたいな人だったら何も見聞きせずに出来ちゃうのかもしれないけど、自分は皆からもらった刺激があるからできてるんだなっていうのは実感してて。

今まではその刺激を先輩から受けてきていたわけだけど、今は下の世代の人たちからもういっぱい刺激ももらってるし、今の若い人たちが居なかったら、絶対にこんなふうには出来てなかっただろうなって本当に思ひますね。トラックに関しても、海外のトラックメイカーから受ける刺激より、日本のトラックメイカーから受ける刺激の方が遥かに凄くて。日本人ってマニアックなんですよ。今何がカッコいいのか、今何が面白いのかっていうことに対するアンテナの張り方が凄いから、毎年リリースされる物凄く数の曲の中で本当に面白いものは何かっていうのを彼らは知ってるんですよ。俺は分かんないから全部何となく『凄いな』って聴いちゃうけど、彼らは『今はこれでしょ』っていうのを掴んで、それを自分の中でしっかり作り上げて表現してますからね。そう考えると、普段現場に行かずにとだ呼ばれてDJしに行くだけだったりとかしたら、俺なんか全然出来なないと思ひますもん。『15年前から変わりません』『この人まだこんなことやってるんだ』ってなっちゃうと思ひますよ（笑）。

●一番になりたいという気持ちでやっていると思ひますが、そうなるために必要なことは何だと思ひますか？

トラックもDJもどんどん巧くなるっていうのが目標だし、やるからには一番になるっていうのが最終目標だし。『あの人には敵わない』『あの人は本当に凄イ』って思われたくてやってるわけですからね。DJだったら無限にある音楽を吸収していく作業も大事だし、新しいものから古いものまで、いい音楽をどんどん探さっていうのも大事だし。昔は、口ではそういうふうに言っても、それがホントはどういうことなのかって自分では分かってなかったんですよ。でも、それって本当に大事なことでって今は実感しますよね。どの音楽にしても色んなジャンルの音楽の集合体なわけだから、いくらHIP HOPしかやらないんだとしても、色んな現場に行って聴いたり見たりで刺激ももらって、色んな音楽を探して自分の中に吸収するっていうことが一番大事なことでって思ひますよ。

誰にも出来ないDJをやりたいって思った時、自分の知識って凄く少ないなって思ったから、色んな音楽を知ることって絶対的に大事なんだって思ひましたよね。かけなくても知ってることによって、プレイに幅が出るんですよ。同じ曲をかけるんでも、説得力も違うし雰囲気も全然違ってくるだろうから、海外含め、色んな音楽を聴くのはDJにとっては一番大事ですね。そういうところで色んなヒントを感じるからこそ出来ることって、無限にあると思うんですよ。そういうことをここ4、5年は本気で思うようになりましたね。20代は何でも夢中にやってて、仕事が増えてもただ目の前のものをこなすだけだったし。その頃って『仕事もあるし、楽しいし』って感じて流れてやっちゃって、30代になって一瞬ふと我に返った時に、『やっぱりDJをやりたいな』とか『制作も面白いものがいっぱいあるな』って気付いたというか、改めて『好きだな』って思ったんですよ。現場にもずっと立っていたいし、トラックもずっと作っていきないうって思ってた。そこまでは何も考えてなかったから、どうやってやってきたのかも自分で思ひ出せないくらいで（笑）。だから、そこから一つずつ積み上げていこうって思ひ始めたんですよ。自分で一つ一つ見直して積み上げていく作業を始めた時に、本当に自分が好きなものは何なのかっていうことが色々見えてきて、そういうものを自分でしっかりやっていくうちに、もっとやりたいなって思ひ気持ちも強くなってきたんですよ。そこからはとにかく『DJやってもトラック作ってもあの人には敵わない』って言われるものを作りたいうって強く思うようになって。まあ、今はいい感じて年をとってるから、負けて悔しいとかはなくていい刺激になっていいなって



ただ思うんですけどね。昔はそういう人がいると焦っちゃうし変な劣等感が生まれるから、20代の頃はそういう人をあんまり見ないようにしてて、『○○凄いなね。勢いあるよね』って聞いても、『ああ、そうなんだ。でも俺は俺だからまあいいや』みたいな（笑）。でも、今は本当にいい刺激になってます。

あとは、トラックでもDJでも必要なはとにかく練習と研究、それから人との繋がりですね。刺激を受けるにしても仕事をするにしても、最終的には人との繋がりが大事でそれがマストですよ。そういう部分はずっと大切にやっていこうって思ってます。

●読者にメッセージをお願いします。

“PUNCH OUT!!!”に関しては、3人のキャラがしっかりと立っていて、お互いの役割みたいなものもちゃんとできていると思うし、時間帯によってそれぞれの表現の仕方も違うので、そういう意味で今は凄く面白いと思います。“MONSTER”は一晩に3時間くらいプレイしていて、今自分が『こういうことをやりたい』って思っているDJでは“MONSTER”に来てくれたらほんと聴けると思うので、そういうのを聴いてもらえれば嬉しいです。 !!

(※1) 97年から01年まで毎週火曜HARLEMにて開催。
レジデントはDJ HASEBEとDJ WATARAI。
(※2) 03年から09年まで毎週金曜HARLEMにて開催。
レジデントはDJ KEN-BO、DJ WATARAIは04年より加入。

- DJ WATARAI “BEST 3 TUNE”
“King Tut”
- Busta Rhymes
“Jump Out”
- Gunplay
“New God Flow”
- Kanye West & Pusha T

- ☐ : DJ
☐ : MC
☐ : GUEST DJ
☘ : SPECIAL GUEST
☐ : LIVE
☐ : DANCE SHOW CASE
☐ : VJ
☐ : OPEN UP DJ
☐ : HOST
☒ : INFORMATION
BX CAFE : HARLEM 3RD FLOOR

2012
SEP
09
-
OCT
10

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
26 SUNDAY DELIGHT ☐ HAZIME, SAH, ALAMAKI ☐ OPEN. 23:00 ¥2,500/1D * till 24:00. ¥1,500/1D (with flyer) *	27 SORRY... CLOSED	28 EVERY TUESDAY NIGHT RED ZONE ☐ KOYA, KANGO ☐ TSUKASA BX CAFE ROYAL FLUSH "YELLOW MAGIC" ☐ KEN-SKE, HIKOICHI, IPPEI ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥1,500/1D (with flyer) *	29 EVERY WEDNESDAY NIGHT PARTY NAKED ☐ HASEBE, KOMORI ☐ OPEN. 22:00 ¥2,500/2D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	30 feel it ☐ SHUNSUKE, SATORU, CHOVO ☐ SHU--- & SPECIAL DANCE SHOWCASE!!!!!! ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D ¥2,500/1D (with flyer)	31 EVERY FRIDAY NIGHT PUNCH OUT !!! ☐ WATARAI, HAL, SAH ☐ SHUNSUKE, TSUKASA, HIRO, SELECT BX CAFE AVENUE ☐ RYO, ALAMAKI ☐ BX CAFEにて "AVENUE" SPECIAL MIX CDプレゼント! ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	9/1 EVERY SATURDAY NIGHT MONSTER SP. ☐ ANARCHY ☐ KANGO, MOTOYOSI ☐ KAZ, HIDEMI, SHINOBU BX CAFE SOUL FOOD ☐ ASARI from SENDAI ☐ 下坂 ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥2,000/1D (with flyer) *
2 SUNDAY DELIGHT ☐ SAH, ALAMAKI ☐ OPEN. 23:00 ¥2,500/1D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	3 SORRY... CLOSED	4 EVERY TUESDAY NIGHT RED ZONE DJ KANGO "The Anthems 2" Non Stop Mix of Dance Floor Release Party ☐ KOYA, KANGO ☐ SHEIKER BX CAFE ROYAL FLUSH "BLUE CHIP" ☐ KEN-SKE, MOB, REVOLVER, Ma-Ka ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	5 EVERY WEDNESDAY NIGHT PARTY NAKED ☐ KOMORI, MURAKAMIGO ☐ TAK ☐ OPEN. 22:00 ¥2,500/2D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	6 DANCE HOLIC ☐ SAFARI, HAL ☐ ACHI&Taichi from TBZ, LYRICAL THANKS, S.O.D, GKKJ CREW, DeaDsToCks, MADHOOD+HASSE+POKER☆FACE ☐ OPEN. 22:00 ¥2,500/1D ¥2,000/1D (with flyer)	7 EVERY FRIDAY NIGHT PUNCH OUT !!! ☐ WATARAI, SAH ☐ SHUNSUKE, TSUKASA, HIRO, TAKU, SELECT BX CAFE AVENUE "GREEN ANGLE SPECIAL EDITION" ☐ RYO, ALAMAKI, UDAGAWA & TAIGA (from GREEN ANGLE) ☐ MASA ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	8 EVERY SATURDAY NIGHT MONSTER SP. "AISHA 1st SINGLE RELEASE PARTY" ☐ AISHA feat. CHEHON, RICHEE, SIMON ☐ LEAD, SAFARI, MOTOYOSI ☐ KAZ, HIDEMI, SHINOBU BX CAFE SUPA DUPA SATURDAY "3rd Anniversary Special!" HOST SOUND: MASTERPIECE SOUND, POWER PLAYERZ ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥2,000/1D (with flyer) *
9 SUNDAY DELIGHT ☐ HAZIME, SAH, ALAMAKI ☐ OPEN. 23:00 ¥2,500/1D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	10 SORRY... CLOSED	11 EVERY TUESDAY NIGHT RED ZONE ☐ KOYA, KANGO ☐ HIDEMI BX CAFE ROYAL FLUSH "ORANGE BLOOD" ☐ KEN-SKE, SHEIKER, CO-HEY, TAKA ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	12 EVERY WEDNESDAY NIGHT PARTY NAKED ☐ KOMORI, KENT ☐ shoWWgo ☐ OPEN. 22:00 ¥2,500/2D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	13 Diamond 2012 ☐ 麻崎, JUNKO, 渡美, YUI, MEG, RINA SOUND: BADDY45 ☐ なすっキューカンパ, 男, TORO CHACHA, MAGNAM GIRLS JAPAN ☐ 山口リサ, AKANE GO GO DANCER: D-RMY & more ☐ OPEN. 22:00 MENS: ¥3,000/1D WOMAN: ¥2,000/1D with flyer ¥500 OFF	14 EVERY FRIDAY NIGHT PUNCH OUT !!! ☐ WATARAI, HAL, SAH ☐ SHUNSUKE, TSUKASA, HIRO, TAKU, SELECT BX CAFE AVENUE ☐ RYO, ALAMAKI ☐ IPPEI ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	15 EVERY SATURDAY NIGHT MONSTER ☐ WATARAI, SAFARI ☐ KAZ, HIDEMI, SHINOBU BX CAFE Apple Pie "DJ HARUKI BIRTHDAY BASH!" ☐ HARUKI, KOMORI, Mike-Masa ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *
16 SUNDAY DELIGHT SP. ☘ TEDSMOOTH from NY ☐ HAZIME, SAH, ALAMAKI BX CAFE SAFARI ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥2,000/1D (with flyer) *	17 SORRY... CLOSED	18 EVERY TUESDAY NIGHT RED ZONE ☐ KOYA, KANGO ☐ BOBBY BX CAFE ROYAL FLUSH "BLACK LOUNGE" ☐ KEN-SKE, SAH, TOKISHIN ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	19 EVERY WEDNESDAY NIGHT PARTY NAKED ☐ KOMORI, MURAKAMIGO ☐ MarT ☐ OPEN. 22:00 ¥2,500/2D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	20 Mo'PhatParty "PINO Birthday Bash!!!" PINO and SPECIAL ARTIST!!! ☐ OPEN. 23:00 ¥3,000/1D ¥2,500/1D (with flyer)	21 EVERY FRIDAY NIGHT PUNCH OUT !!! "DJ WATARAI BIRTHDAY BASH!!!" ☐ WATARAI, HAL, SAH ☐ SHUNSUKE, TSUKASA, HIRO, TAKU, SELECT BX CAFE AVENUE ☐ RYO, ALAMAKI ☐ TONNY ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	22 EVERY SATURDAY NIGHT MONSTER ☐ HAZIME, MOTOYOSI ☐ KAZ, HIDEMI, SHINOBU BX CAFE Vanessa ☐ KOYA, A-KAY ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *
23 SUNDAY DELIGHT ☐ HAZIME, SAH, ALAMAKI ☐ OPEN. 23:00 ¥2,500/1D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	24 SORRY... CLOSED	25 EVERY TUESDAY NIGHT RED ZONE ☐ KOYA, KANGO ☐ TSUKASA BX CAFE ROYAL FLUSH "4TH ANNIVERSARY SP." ☘ DJ GETLIVE! from NY ☐ KEN-SKE, HIKOICHI, IPPEI ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥1,500/1D (with flyer) *	26 EVERY WEDNESDAY NIGHT PARTY NAKED ☐ KOMORI, KENT ☐ YOKOYAMA ☐ OPEN. 22:00 ¥2,500/2D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	27 NEVER BROKE DJ BEERT & Flammable - ASHES TO ASHES. RELEASE PARTY PICK UP DJ: DJ BEERT & Flammable GUEST DJ: NOBU a.k.a. BOMBRUSH! DJ: TY-KOH, NUCKEY (THE HEAVY HITTERS) DANCE SHOW CASE: LYRICAL THANKS, TRIPLE CLUTCH, JAMP OFF!! GO-GO DANCERS: BLUE MAGIC GO-GO DANCERS HOST: C.E.O.KAZU ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D ¥2,500/1D (with flyer)	28 EVERY FRIDAY NIGHT PUNCH OUT !!! ☐ WATARAI, HAL, SAH ☐ SHUNSUKE, TSUKASA, HIRO, TAKU, SELECT BX CAFE AVENUE ☐ RYO, ALAMAKI ☐ WATAYOSHI ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	29 EVERY SATURDAY NIGHT MONSTER× RIME NIGHT "鬼頭BIRTHDAY BASH!" 豪華GUEST LIVE 多数有り ☐ RIMERIME ☐ LEAD, SAFARI, MOTOYOSI LIVE PAINT: 鬼頭 ☐ KAZ, HIDEMI, SHINOBU BX CAFE RECOGNIZE ☐ NOBU a.k.a. BOMBRUSH!, AKIO ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥2,000/1D (with flyer) *
30 SUNDAY DELIGHT ☐ HAZIME, SAH, ALAMAKI ☐ OPEN. 23:00 ¥2,500/1D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	10/1 SORRY... CLOSED	2 EVERY TUESDAY NIGHT RED ZONE ☐ KOYA, KANGO ☐ SHEIKER BX CAFE ROYAL FLUSH "BLUE CHIP" ☐ KEN-SKE, MOB, REVOLVER, Ma-Ka ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	3 EVERY WEDNESDAY NIGHT PARTY NAKED ☐ KOMORI, MURAKAMIGO ☐ TAK ☐ OPEN. 22:00 ¥2,500/2D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	4 DANCE HOLIC ☐ SAFARI, HAL ☐ OH GIRL! ☐ OPEN. 22:00 ¥2,500/1D ¥2,000/1D (with flyer)	5 EVERY FRIDAY NIGHT PUNCH OUT !!! ☐ WATARAI, HAL, SAH ☐ SHUNSUKE, TSUKASA, HIRO, TAKU, SELECT BX CAFE AVENUE ☐ RYO, ALAMAKI ☐ MASA ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *	6 EVERY SATURDAY NIGHT MONSTER ☐ KANGO, MOTOYOSI ☐ KAZ, HIDEMI, SHINOBU BX CAFE SOUL FOOD ☐ TAMA from SAPPORO ☐ 下坂 ☐ OPEN. 22:00 ¥3,000/1D * till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *

▶▶ EVERY TUESDAY “RED ZONE”

平日の火曜という難しい状況下で、平日のパーティーの概念を全てブチ壊し、週末と錯覚するほどの集客力を誇る〈RED ZONE〉!! NEW YORKのパーティースタイルを日本で再現したい一心で始められたこのパーティーも、今やアメリカ本土のDJ達からも注目され、こぞって来日するまでに!! BLACK MUSICを中心にHOUSE、ELECTRO、そしてROCKなど、ここから発信されるクラブスタイルは世界最速!! 最先端!!! そして常に根底にあるのはDJ KOYAとDJ KANGOのまっすぐ過ぎるほどストレートな“HIP HOP”!!!

流行から文化を創りだすほどの影響力を持ち、もはや日本のクラブシーンを牽引しているといっても過言ではないパーティー。

それが〈RED ZONE〉だ!!!!!!

9/4はDJ KANGOのMIX CD “The Anthems2” Non Stop Mix of Dance FloorのRelease Party開催!



※24時までにFLYERを持参すると、¥1,000/1Dで入場することができます。

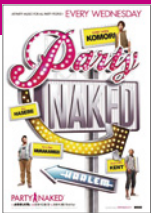
▶▶ EVERY WEDNESDAY “PARTY NAKED”

DJ KOMORIがHARLEM水曜日をプロデュース。

ジャンルレスなコンセプトでお届けする〈PARTY NAKED〉。

『心を裸にして楽しんで欲しい』という想いが込められたこのタイトルそのまま、純粋に華やかで底抜けに楽しいPARTYを展開していきます。ジャンルに拘らないそのSTYLEは現在の流行を先行する“OPEN FORMAT”という新しい概念すら超越した“ALL PARTY MUSIC”。PARTYをどこまで楽しめるか? どこまでも楽しんでもらう為に! DJ陣が音楽の扉を大きく開いてトコトンおもてなしをします。RESIDENTはDJ KOMORIを筆頭に第1・第3週はレーベルメイトでもあり名古屋を拠点に活動し「フロアのネ申」の異名を持つDJ MURAKAMIGO、第2・第4週は大阪より今や絶大な人気を誇り全国区で活躍するDJ KENTを迎え、毎週毎週PARTYをアップグレード! そしてEXCLUSIVEな第5週目にはシーンを黎明期より支え続ける日本屈指のプロデューサーDJ HASEBEが登場! 今までの常識を根底から覆す新しいスタイルで毎週水曜日に絶賛開催中!!

※24時までにFLYERを持参すると、¥1,000/1Dで入場することができます。



▶▶ EVERY SUNDAY “SUNDAY DELIGHT”

日曜日のPARTYの可能性を最大限まで追究し、HIP HOPのまさに「今」を最新のスタイルでお届けしているALLOWS presents 〈SUNDAY DELIGHT〉。JAPANESE HIP HOP DJのTOPとして君臨し続けるDJ HAZIMEを筆頭に、多数のフォロワーから熱い視線を集めるDJ SAH、そしてHIP HOPを軸にしながらもジャンルレスに独自の世界観を展開するDJ ALAMAKIの3人がBLACK MUSICの魅力之余すところ無く斬新な切り口で表現。そのクオリティとHOTなVIBEZはすでに数多く存在するサンデラマニアがまだまだ増殖し続けていることが物語っている。週末だけでは遊び足りない、週末はなかなか遊べないという方も文句無しで楽しめるHOLIDAY HIP HOP 〈SUNDAY DELIGHT〉、SHOUT OUT TO ALL HIP HOP LOVERS!

9/16はサンデラ祝前日スペシャル! 「THE REMIX KING」として知られるDJ TEDSMOOTHをNYより招いてお贈りします! CLUB好きなら絶対に聴いたことのある彼のSMASH HITの数々を、彼自身のDJでご堪能下さい!



PICK UP 2012 09 - 10

▶▶ EVERY FRIDAY “PUNCH OUT!!!”

一晩を通して『踊り明かせるPARTY』をテーマにHARLEMがお贈りしているEVERY FRIDAY PARTY NIGHT 〈PUNCH OUT!!!〉。シーン最重要人物の一人でもあるDJ WATARAIを筆頭に、多方面での活躍が光るDJ HAL、そしてストレートなHIPHOPを表現するDJ SAH!!! フレッシュさ、アグレッシブさを兼ね備えた3DJSの個性がぶつかり合い、そして融合して起こる化学反応に深く魅了されてしまうオーディエンスは後を絶たない!!

パーティータイトルの如く10フレーム最後に起こる奇跡のような、それでいて一晩を完璧に構築・演出していく様はGAMEを知り尽くした功者ならではの。音楽への飽くなき探究心と好奇心があるからこそ、無限に広がる究極のPARTYの可能性はココHARLEM 〈PUNCH OUT!!!〉から。洗練された選曲と時を忘れてしまう程のMIX／GROOVE、一度味わってしまえば二度と忘れることの出来ない感動と衝撃を是非貴方自身で体感してください。

9/21はDJ WATARAI BIRTHDAY BASH!!!

ワタさんの聖誕祭をみんなで盛大にお祝いしましょう!



※24時までにFLYERを持参すると、¥1,000/1Dで入場することができます。

▶▶ EVERY SATURDAY “MONSTER”

誰もが興奮する最強の渋谷HIP HOP四天王が毎週登場する〈MONSTER〉。DJ KANGO(第1週)・DJ KOYA(第2週)・DJ WATARAI(第3週)・DJ HAZIME(第4週)という無敵の布陣に、世界最強DJ集団THE HEAVY HITTERSよりDJ LEADが第5週に電撃参戦! 東も西も国境も時代も関係ない。まさに王道中の王道中の王道。DJの名前を知らなくても許されるパーティーが乱発する昨今、この問答無用のケチガイな破壊力はジャンルを超越し、人々の記憶と心に容赦なく強いトラウマを与える事だろう。

原点回帰。今の日本は“本物”を求めているのではないだろうか? 必要としてはいけないのだろうか? これは時代への挑戦でもあり、とつともなく壮大で最高にエキサイティングな革命だ。真の音楽ファンならば胸を熱くせずにはられない、日本HIP HOP界今世紀最大の事件と言うべき黄金のパーティーがスタートした! 地球規模で常識をブチコワス史上最強HARLEM伝説に震撼せよ!!!

9/1は、ANARCHYがSPECIAL LIVEをKICK!

2週目の9/8は話題のNEW DIVA, AISHAのリリースパーティーを開催、豪華feat.陣も見逃せない!

そしてEX.な第5土曜日はなんとRIME NIGHTとのコラボナイト!

グラフィティアーティスト鬼頭のBIRTHDAYを祝して超豪華GUEST

が多数出演します!

MONSTERから目が離せません!!



※24時までにFLYERを持参すると、¥1,000/1Dで入場することができます。

▶▶ EVERY TUESDAY at BXCafe “ROYAL FLUSH”

火曜日のBX CAFEにて毎週異なるテーマで開催されるWEEKLY PARTY 『ROYAL FLUSH』!! 温故知新といったブラックミュージックの文化を、そのプレイで忠実に紹介してくれるのは、東京をはじめ全国各地、世界はマイアミにおいてもプレイ経験を持つDJ KEN-SKE!!

第1週目は、当時色色濃く映し出すSMASH HITSや知られざる隠れた名曲まで、2000年前後を中心とした内容でお贈りする『BLUE CHIP』。第2週はダンスクラシックスを中心とした『ORANGE BLOOD』。

第3週はブラックミュージックの神髄を深く深く掘り下げる『BLACK LOUNGE』。第4週はHIP HOPからHOUSEまで全てのダンスミュージックを網羅する『YELLOW MAGIC』。

レアな第5週目はDJ KANGO (RED ZONE) とDJ KEN-SKEが入れ替わる【特別な夜】『RED LIGHT SPECIAL』と、毎週火曜のパーティーとは単に言い表せない濃厚な『ROYAL FLUSH』。フリークは増加の一途である…。



※24時までにFLYERを持参すると、¥1,000/1Dで入場することができます。

9/25はROYAL FLUSH 4周年! アニバーサリーを祝してNYでは今最も勢いのあるDJの1人、GETLIVE!が初来日。

日本ではまだまだあまり知られていない彼のプレミアムPLAYをお見逃しなく。



9/6・10/4.THU “DANCE HOLIC”

MIAMI NIGHT FINAL、BASE HEADS “ONE” TOUR、熱すぎた2012の夏も終わろうとしますね…。しー! まだまだ遊び足りないですよ? そんな9月の頭に開催するダンホリはまだまだ暑い夜を…いや、熱い夜をみなさんにお届けします!

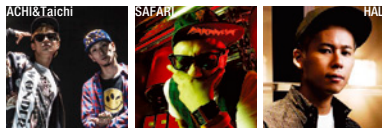
DANCE SHOWに迎えるはメディアでも大活躍のACHI&Taichi from TBZ! 更にLYRICAL THANKS、S.O.Dの2チームもひざしぶりにDANCE HOLICに登場します!

ダンホリインタビューにはGKKJ CREWと超豪華CAST!

DJはもうお馴染みのダンホリ2TOP SAFARI&HAL! 都内各所で活躍中のSHEIKER、SELECT、shoWWgoのプレイも見逃せません!

10月のINTERVIEW&SHOWにはOH GIRL!が登場! 必見です! INTERVIEWでは重大発表もあるみたいですよ!

9月6日DANCE HOLIC! スケジュールには赤丸CHECKをお願いします!



9/13.THU “Diamond 2012”

伝説のGIRL'S PARTYが帰ってきた!!

DJ麻朝 & JUNKOプロデュースのGIRL'S PARTYが3年振りに開催!! 毎回HARLEMを超満員にしていたあの伝説のPARTY『Diamond』!!

DJ陣はDJ麻朝 & JUNKOをはじめDJ樹美など実力派フィメールDJが集合。ダンスショウケースは、なすっ子キューカンパ、努をはじめとした日本のTOP DANCER! スペシャルLIVEには山口リサ、AKANEと平日とは思えない豪華さもDiamondならではの。

まさに実力派GIRL'S PARTYのバイオニア!!!! REALで最先端なTOKYO NO.1 GIRL'S PARTYを体感せよ!!!! 2012年、これを見逃したらもう見れないかも?!



9/1・10/6.SAT “SOUL FOOD”

第1土曜BX CAFEと言えば〈SOUL FOOD〉!! 大阪で活躍するDJ 下拓を中心に全国各地で活躍するDJを招待する新しいスタイルのイベント!

9/1は仙台よりDJ ASARI、そして10/6は札幌よりDJ TAMAを迎えてお贈りします! 東京に居ながら大阪と各地の空気を感じられるこのパーティー、見逃せません!



9/8.SAT “SUPA DUPA SATURDAY”

月に1度のおたのしみ、毎月第2土曜日の“SUPA DUPA SATURDAY”がなんと9月をもって3周年!!! いつもPARTYをサポートしてくれる皆様にBIG RESPECT!!!

この日はアニバーサリーを記念してデキラショットガンをスペシャルプライスで大放出です☆

ホストSOUND、DJ陣が早い時間からガッツリ盛り上げるのでみんなで大発射しましょう♪♪



Follow me

http://twitter.com/club_HARLEM

▶▶ EVERY FRIDAY at BXCafe “AVENUE”

DJ KOYAを師に持ち『RED ZONE』のDNAを継承し、'05年単身渡米後は師が敬愛するNYの数々の名門クラブでレジデントとなり、一躍名声を手に入れたDJ RYO。NYのCLUBのBEST DJ AWARDを受賞するなど、TOP DJとして華々しいキャリアを積み、昨年再び“原点”である東京へと拠点を移した。凱旋帰国を果たしたDJ RYOが、遂にBX CAFEにて待望のレギュラーパーティー『AVENUE』をスタート!

共にレジデントを務めるのは、現在HARLEM『SUNDAY DELIGHT』を始め、渋谷を中心に大車輪の活躍をみせるDJ ALAMAKI。DJ RYOと同時期、世界的音楽都市・TOKYOの第一線で幾多のパーティー

で結果を残し続けてきた、御存知の通り実力派DJである。TOKYOとNEW YORK。海を越えて、新たな音の波が生まれる。渋谷の金曜の夜が変わる。これは何かとてつもない事が起こるかもしれない。



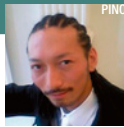
9/7は原宿にオープンしたセレクトショップ「GREEN ANGLE」とのコラボレーション! より華やかな一夜になること間違いなし!

Green Jangle

9/20.THU “Mo'PhatParty”

オシャレなパーティーボーイ達が集い、東京の夜を盛り上げている、『Mo' Phat Party』=『最高のパーティー』。

今回のMo'Phat Partyは、昨年9月同様、HostでもあるDancer “PINO”のバースデーバッシュでの開催です。今年もPINOを祝いに超豪華出演者がHARLEMに集結します!! 名実共に、日本ストリートダンスシーンのトップダンサーによる“Special Dance Showcase”は、圧倒的なSTAGEでオーディエンスを魅了すること必至! 絶対に見逃すことはできません! 最高の音を提供するDJ陣もラストまでフロアを揺らし続けるDance Mixをお届け。新古問わず、地域性の壁を越えて、音楽をいろんな形で感じ、楽しんでほしいという意味を込めています。今回もお祝いムード溢れるSpecialでHappyな一夜になること間違いなし! 刺激的な夜をお楽しみに☆ 誰もが楽しめるPARTYをお届けします! 詳しくはフライヤー、WEB等を要チェック!!!!



Mo'Phat Party

9/27.THU “NEVER BROKE”

ストリートで数々のヤバい作品をリリースし、そのクオリティーの高さから、現場や早耳ラップファンやアーティストから絶大な信頼を寄せられる、まぎれもなく次世代のシーンにおける重要ポストを担うであろうDJ、DJ BEERTがドILLなビートメーカーFlammableとガッツリタッグを組み、総勢20名以上の凄腕MC達が参加した、高純度で濃密なアルバムが遂に完成!! 日米韓の注目アーティストが集結した話題作!!

アメリカはシカゴを代表するギャングスタップ集団のL.E.P. BOGUS BOYSや韓国の若手ラッパーOKASIAN、日本語ラップシーンのスキル&人気共に今最も注目されているラッパーたちが、新たに書き下ろしたリリックが炸裂した1枚!! 全曲Flammableプロデュース!!重厚なビートは本当にヤバい!!!!!! 是非その耳で体感すべき!!



9/15.SAT “Apple Pie”

第3土曜日のBX CAFEといえばTOKYO NO.1 R&B PARTY “Apple Pie”☆

皆さんを音でハートまでメロメロにしてくれるのは、DJ HARUKI、DJ KOMORIそしてDJ Mike-Masa! ゴールドentraiangル、リングにハチミツでBX CAFEをDress Up♪ 9/15はDJ HARUKI BIRTHDAY BASH♪ Mr.Apple Pieのバースデーにみんなで乾杯しましょー☆



9/22.SAT “Vanessa”

DJ KOYAとDJ A-KAYが週末のBX CAFEをHIP HOP/R&Bに限らずOPEN FORMAT STYLEでお贈りする〈Vanessa〉。第4土曜日に華々しく開催! if u wanna know the deep of both DJ's world, must check A "Vanessa". Don't miss it!!



9/29.SAT “RECOGNIZE”

第5土曜日のBX CAFEは“RECOGNIZE”。

今回のDJには東京屈指のDJ NOBU a.k.a. BOMBRUSH!、そして京都よりDJ AKIOが登場。JAPANESE HIP HOPシーンを牽引する彼らのPLAYを一晩余すところ無くBLACK MUSIC SKY LOUNGE BX CAFEでお楽しみ下さい。

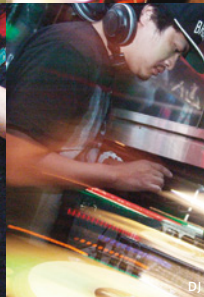




7.25, 8.1, 15.WED "PARTY NAKED"
2012年夏の陣、8月に入力した「PARTY NAKED」はリリースパーティーラッシュ！
8/1はビーチサンセットを思わせるDJ KOMORI "After Party"、そして8/15はDJ MURAKAMIGOによるJ-POP MIX "What's POP?"と、PARTY NAKED DJsにかなし得ないバラエティに富んだオフィシャルMIXのリリースに大勢が祝杯をあげに駆けつけました。



8. 4. SAT "MONSTER SPECIAL" / BX CAFE "SOUL FOOD"
8.11.SAT "MONSTER SPECIAL" / BX CAFE "SUPA DUPA SATURDAY"
HARLEMも海に山に花火に負けていません！ 脳裏に強烈に焼きつくSPECIAL NIGHTをMONSTERから投下！
8/4はQUEEN DJ KAORIの登場、8/11は般若がLIVE ACTと息つく暇もなくフロアの酸素を大燃焼。
BX CAFEではSOUL FOODに名古屋よりDJ CAUJOONが、SUPA DUPA SATURDAYでは言うまでもなくBADでMADなRAGGA DANCEHALLを展開しました。



8.5.SUN "SUNDAY DELIGHT"
What you twerkin' wi-th?? club!beach party!to fesic!と夏はさらにタイトスケジュールでhard workin'な3人が日曜日の夜はHARLEMに集結！ ってことでござとお客様も大集結！ 毎週アップデートされるHIP HOP NEWSをUSと誤差なく体感できるとあってはマニアでなくとも反応してしまうはず。 しっかり夏はハウンシーなベース、気持ちいいっすね〜



8.10.FRI "PUNCH OUT!!!" / BX CAFE "AVENUE"
RESIDENT DJの活躍が光る「PUNCH OUT!!!」、今月の巻頭を飾るDJ WATARAIを筆頭にHALそしてSAH、さらには後続に続々と若手がそのスキルをブラッシュアップして金曜日を盛り上げています!!!
CANSERのVJINGも要CHECK！ BX CAFE "AVENUE"では先日ノベルティで配ったMIXが大好評！ 是非今月号の中間ページご覧ください！ DJ RYO & DJ ALAMAKIの創り上げる3Fでもガッチリ踊れます！

●その他、未掲載のPARTY SHOTはWEBに掲載！
www.harlem.co.jp [HARLEM MAG > PARTY REPORT]



7.24.TUE "RED ZONE SP."-GUEST DJ BEAT BREAKER from CROOKLYN CLAN-
8.14.TUE "RED ZONE SP."-GUEST DJ ROSS ONE-
8.21.TUE "RED ZONE SP."-ONE "BASE HEADS LAST TOUR FINAL" - / BX CAFE "ROYAL FLUSH"
7/24は、数々の名曲をドロップしてきたCROOKLYN CLANからDJ BEAT BREAKERが急遽来日PLAY！ 意外にも最新HIT TUNEを彼ならではのブレイクMIXで聴かせる新編でオリジナルなSTYLEにフロアは熱狂した。
8/14には、約1年ぶりにDJ ROSS ONEが来日！ その卓越したスキルでスーパーセレブからビッグアーティストからこまもなく愛される彼のPLAYを一目見ようと店内はパンパンで人が溢れる程！ フロアに入れた人はラッキー?!
そして8/21は、惜しまれつつも解散してしまうBASE HEADSのツアーファイナル。DJやMC、そしてもちろんDANCERも蒼々たるメンツが集い、彼らのLAST SHOWに華を添えた。



FEATURE INTERVIEW: HARLEM 15TH ANNIVERSARY MIX CD DJ HAZIME, WATARAI, HAL, SAH

Cover & Interview Photo by SHINICHIRO SAITO

HARLEM 15周年を記念してリリースする2枚組オフィシャルMIX CD。
MIXを担う4人のDJが、時代背景にも触れながらその全容を語る！



DJ HAZIME
(MONSTER/SUNDAY DELIGHT)

●今回のMIX CDは2枚組になりますが、それぞれどのような内容になっていますか？

HAZIME：HARLEMの15周年企画のMIX CDってことで、15年前の曲から始めるかどうかというところを1回みんなて話した時、当時かかってた曲も入れちゃっていいんじゃないのって話も出たから、『ホントにこれ、15年前にHARLEMでよくかかってたよね』っていうのを最初の方に入れて、そこから自分もDJやるようになった頃に『俺、結構この曲かけたな』っていう曲になるみたいな流れかな。『HARLEMですげえ聴いてたな』って曲から『すげえかけたな』って曲にスーッと変わっていく感じ。だからちょうど、1990年代後半とか2000年代アタマくらいのところでワタさん（WATARAI）にスイッチしてる感じで。

WATARAI：スイッチされた僕は、1990年代の後半から2002年とか2003年くらいまでの曲です。僕のパートは割と歌モノが多いので、そういう意味でもHARLEMっぽい選曲です。

SAH：自分らの方は、俺からなんですけど、ちょうどHARLEMでSOUTHが浸透し始めた2005年くらいの曲からスタートしてて、そこから今でも普通に現場でかけている曲も入れてます。懐かしい曲もたくさん入ってますが、今っぽい感じの流れで選曲できたと思います。

HAL：自分たちがOPEN UPとかやってた頃にHAZIMEさんたちがガンガンかけてたような曲とかは、敢えて入れないようにして、自分たちがメインの時間帯にやれるようになった頃にかけたヒットチューンなんかを選曲してます。SAHくんと僕のバランスを考えて、始めの方はSAHくんにHIP HOPをやってもらって、後半僕が歌モノとかをやったらいいのかなって話して二人で決めた感じで。自分たちが言うのも何なんですけど、自分たちが考える〈次世代HARLEM〉的な要素を入れた選曲になっています。

WATARAI：今回のコンセプトとしては、今までHARLEMでかかってきた歴史のある曲をMIXするっていうことに重点をおいてたから、曲の並びとかはあんまり重視せずに、どっちかっていうと選曲の方を重視してて、もちろん、『ラストの時間帯はこういう感じの曲が並んでかかってたな』っていうのを想像しながら選曲してたけど。

HAZIME：俺なんかは、単純に権利の問題で、『これの後はこれをやってたな』っていうのが再現できないって最初から分かってたから、ワタさんと同じく〈繋ぎ〉ってよりは〈曲〉で選んだ感じかな。許諾とかあるから、オフィシャルは大変なんだよね。

HAL：僕らも繋ぎがどうこうっていうよりは、『これは入れるでしょ』『これは入った方がいいでしょ』っていうのを決めてって、色彩的なイメージで分けたら自然にサラッと決まりました。僕らの方は、今HARLEMでかかってる曲なんかもバンバン入ってるんで、これからHARLEMに遊びに来ようとしている人には、予習として聴いてもらえば楽しめるんじゃないかって思います。

●それぞれ、誰がどの曲を使うというのはどのように決定しましたか？

HAZIME：俺はやり逃げ(笑)。先に『これやるんで、ここで渡します』って言って。ラフで作ったMIXをMP3で渡してんで、完全にやり逃げです(笑)。

WATARAI：まあ、年代も分けてたからカブることもなかったしね。

SAH：俺らはそれぞれ別々にピックアップしてみたら、いい具合にカブらなかった感じですよ。

HAL：そんな感じです。

●こういう形での2枚組のMIX CDというのはあまりないと思いますが、このような作り方で感じたことはありますか？

HAZIME：ぶっちゃけ言っちゃえば楽だよね。労力が半分で済むし。

SAH：クラブプレイみたいな感じは出ますよね。自分の時間があって、次に人がいて、みたいなところがクラブっぽいかなって。一人で作ったら一人で始めて一人で完結しちゃうわけけど、次の人に渡すみたいなのところがあるから。

HAL：それがオフィシャルで出せるっていうのもいいですよ。世に知れ渡るっていう意味で凄く大事なことだと思うから、こういう企画に誘っていただいたのは凄く嬉しいです。

HAZIME：あと、2枚組なんで、SAH & HALの方ばかり聴かれないうに気をつけます(笑)。

WATARAI：その可能性は大だよ(笑)。

HAZIME：2枚組なんで、絶対どっちかに偏るから、負けないように頑張ります。

HAL：こちらら先輩方に負けないように頑張ります。

SAH：2枚通して聴いてくれたらと思ってます。

●それぞれ、普段のプレイを意識した感じになっているんですか？

HAZIME：俺は最近ほもう、普段のプレイで古い曲はあんまりかけないからね。ラストの時間帯も月に1回“MONSTER”でやるかやらないかくらいだし、古い曲よりは今の曲の方がかけたいから、基本的には普段のプレイって感じではないな。今回は〈HARLEM 15年史〉みたいなものを上手くパッケージにできればというのがあったから、俺のパートに関しては、今のプレイどころっていうよりも、ホントに『これ、当時よくかかってたね』『これよくかけたな』みたいな物を重視したかな。

WATARAI：僕もそう。どっちかっていうと当時のHARLEMを思い起こしながら、選曲していった感じです。『よくかけたなあ』っていうよりは『かかってたなあ』って感じで。『HARLEMでよく聴いたなあ』みたいな。

HAZIME：でも『その時こんなことあったなあ』とか、当時のことは全然思い出せないの(笑)。俺はレコードのジャケットが出てくる感じ。パソコンの画面とかじゃなくて、『これ、かけたなあ』っていつてすぐ出てくるのは、ジャケットだったから。当時のギャルとかは出てこなかった。名前ももう思い出せないみたいな(笑)。

SAH：その頃は僕はフロアでガンガン踊ってましたね。

HAZIME：その頭で踊ってたの？ その頭、フロア出入り禁止とかじゃないの？(笑) パーとフロアの境目で止められなかった？ 『後ろのお客さんの迷惑なんで』みたいに(笑)。

SAH：頭は関係ないじゃないですか(笑)。それに、まだその頃はフロアはたくさんいましたもん。

HAZIME：そんなにいた？ そんな思い出さえないけど(笑)。何人くらいいたの？ 10人くらい？ だったら俺、絶対覚えてると思うけど(笑)。

SAH：4〜5人はいたんじゃないですか。ちゃんとフロアで踊ってましたよ(笑)。

HAL：僕もホント、ワタさんとかHAZIMEさんとかがやってた頃、よくフラフラ遊びに来てて。フラフラし過ぎて危なかったですもんね。

HAZIME：HALなんて今でも日曜日にフラフラしてんじゃん(笑)。

HAL：あ(笑)。楽しくなっちゃうんで。当時はホントにフロアにいましたね。自分がDJするようになってからも、二人のプレイはよく聴かせてもらってました。ワタさんとはよく一緒にやらせてもらう機会があったんでホントによく聴いてたし、HAZIMEさんは、土曜日にBX CAFEでやらせてもらってた時によく下に聴きに行ってたんですけど、Missy Elliottの曲で音を消してお客さんに歌わせて繋ぐみたいなのを見た時は、ホントに衝撃的でした。それを“Pass That Dutch”なんかでやってたのは、凄くインパクトありましたね。

SAH：HAZIMEさんの“OH My God”の2枚使いなんかを見た時は、家に帰って練習しましたね。

HAZIME：“OH My God”の2枚使い、やってましたね。でも、こういう話してても出てくるのは、結局レ

コードのジャケットなんだよね。関係ないけど、Tribeのあのアルバムのシングル、全部音小さいですよ？

WATARAI：そうそう(笑)。

HAZIME：こうやって当時のこと話していると、『よくあんな曲ウケてたな』って思うよね。今は逆に全くでしょ。聴く回数も少ないし、あんまり盛り上がらないし。時代の流れは早いですね、って感じですか。

SAH：15年ですからね。ホント、一昔前ですよ。俺は“HONEY DIP”をやってた頃はまだこっちにいなかったけど、上京してからは第4土曜日にWATARAIさんがMUROさんとやってたのを目掛けてHARLEMに来てましたね。

HAZIME：俺はね、ワタさんと言えば、見たことのない“Check The Rhyme”の2枚使いが凄く印象に残ってて。手の動きとか尋常じゃなくて。今よりももっとスクラッチする人だったから、『スゴっ!』って思ってた。あとは“Come Clean”の2枚使いとか。

SAH：HARLEMでやってたんですか？

HAZIME：そう。“Come Clean”の2枚使いなんで、脳みそがグワングワンになるかと思ったもん。

HAL：しかもアナログですよ？

WATARAI：そう。10分くらいいすらす2枚使いしたら、『長えよ!』って怒られた(笑)。

HAZIME：HARLEMでっていうのが、それはそれで凄くなって(笑)。

●MIX CDの位置付けとは、どのようなものですか？

HAL：作品によって違うとは思んですけど、今回はHARLEMの15周年っていうのもあるので、HARLEMを知ってもらうのを第一に考えますよね。自分だけのものだったら、現場だけじゃ伝えきれない世界観とかをCDを聴いて知ってもらってというものになるとは思んですけど、今回はHARLEMの15周年企画だから、この15年をパッケージにして、人に届けるっていうのもですよ。それを聴いて『やっぱ、HARLEMはやばい』って思って、それぞれの曜日に遊びに来てくれるお客さんが増えればいけないという思いで作ってますね。

SAH：それに、今はもうHARLEMに遊びに来なくなったって人もたくさんいるわけじゃないですか。俺と同世代くらいの人たちとかは、もう全然来なかったりするし。そういう人たちにも聴いてもらえるようなものにしたいですね。聴いてもらって、『HARLEM懐かしいな』って思い出して欲しいし、『また行きたいな』って思わせたいですね。

WATARAI：確かに、当時いた人が懐かしんで更に今の音楽も知れて、今現在遊びに来ている人は、昔のクラシックも勉強できて、そういう意味ではいいよね。

HAZIME：俺個人的には『懐かしいなあ』っていう感情があまりないんだよね。『かけたなあ』とか、ジャケットを思い出すとかっていうのはあるけど、懐かしいっていうのは基本的にあんまり思わないからね。ザックリと『HARLEMってこういうところだったんだよ』っていうのが、選曲で表現できたらいいのかなって思ってた。MIX CDを実際に聴いて、若い子たちに『当時のHARLEMってこういうのかかってたんだよ』って思ってもらえればいいし、例えば若手のDJたちもそういうのが分かればいいと思う。逆に、当時来てた人たちに『今のHARLEMってこういうのかかってるんだよ』って知ってもらって、また遊びに来る人は来るようにするのもかもしれない。単純に、お店の歴史みたいなものが分かればいいのかなって。

そもそもMIX CDってものは、そういうふうに関能させるものだと思うんだよね。そのDJのセンスだったりスキルだったり人を人知ってもらったものだったからさ。いきなりバンバン売っちゃって、汚れたマーケットになったけど、元々はデモテープみたいなものでしょ。『僕、こういうことやってます』って。クラブそのものとか、個人のスキルだとか、流行ってた曲だとか、どっちにしても何かを紹介するものなのかなって思うから、無くなったつまんないとは思うけどね。

HAL：無くなったら残念ですよ。クラブに遊びに行けない頃って情報が全然なかったから、MIX TAPEを聴くしかなかったんですよ。それで、そのTAPEのリストの曲を全部買って、全部同じ繋ぎにして練習することとか結構あったんですよ。自分がDJを目指してた時は、ある意味、MIX TAPEとかMIX CDとかは教科書みたいなものだったんで、かなり自分のDJスタイルのROOTSだったりするんですよ。中坊の頃はセンター街は怖いから西武から巡回りして宇田川町にまで買いに行て、帰り聴きながら帰る感じ。誰々のMIX TAPEが出るから買いに行く、みたいな。そういうルーティンがありましたね。時代も変化して、18歳過ぎたくらいからはもうCD

が主流になってましたね。今の時代は更にまた全く違う環境だし、凄く便利になったと思うけど、その中でのヒントや発見を自分なりに探したり、自分なりに音楽をディグる事って絶対に大事だと思いますよね。

HAZIME：俺の時はまだCDじゃなかったけど、とにかく聴いたMIX TAPEはKid CapriとDoo WopとEnuffで。それを聴いてレコードを買いに行ったりしてたからね。それを、今の若手のDJたちがどういうふうにしてるのかは分かんないけど、特に古いものはMIX TAPEを目安に買ってたな。

WATARAI：俺はMIX TAPEとかじゃなくてラジオかな。FlexとかStretchとか、それこそDoo WopとかMister Ceeとか、Hot 97を録ったテープが売ってて、それを買って聴いてたからね。

SAH：今はネットで聴けるけど、当時はMIX TAPEが500円とか1,000円とかで売ってたんで、僕もそれをよく買ってたね。

HAL：クラブに行けない頃は、MIX TAPE DJばかり追っかけてたんですけど、クラブに行ける歳になって遊びに行ったら、MIX TAPEのDJとパーティーDJの考え方や存在の意味が全然変わっちゃってて。全く別の職業だになって。そこから、やっぱりクラブDJメインでやっていきたいなって思ったんですよ。お客さんを喋らせて繋いだりとか、生じゃないと絶対にできないじゃないですか。そういう心と心のキャッチボールみたいなものができるんで、クラブは凄く刺激的に感じて。それを自分でもやりたくて、スタッフとか関係者へのプロモーションツールとして、自分でMIX CDを作るようになって。そこでまたMIX CDの意味合いも変わりましたね。

●HARLEMでのお酒の失敗談は？

HAZIME：HARLEMの酒って濃いよね？ なんか、たまに悪意のある出し方されると思うんだけど(笑)。

SAH：俺は全然金がなかったから、少ない量で酔える高アルコール度数のロンリコとスピリタスしか飲んでなくて…(笑)。

HAL：HARLEMでDJし始めた頃はOPEN UPが多かったから、終わったら飲むしかないんですよ。酒好きだし周りからも結構飲めるって思われてたから、面白がってバンバン色んな飲まされて、最後は潰れて悲しい感じってことはよくあったけど、それも宿命かなって思ってた。逆に今のOPEN UPをやってる子とか、最後の方でもデロンデロンになってるヤツっていないじゃないですか。だからもしいたらちょっと気になります(笑)。

『飲みましようよ』みたいに連れてかれるくらいがいいんじゃないですかね。

WATARAI：俺らの初期の頃って、そんなのあんまりなかったよね。

HAZIME：なかったですね。

WATARAI：昔はショットガンとかも誕生日くらいで、他はあんまり飲んだ記憶ないから。でも1回だけ、自分は記憶はないんだけど、誕生日の時に飲まされ過ぎて、音止めて15分くらいずっとレコードを選んでたことがあるらしい(笑)。HASEBEくんが心配して入ってきて、『うるせえんだ、こっち来んじゃねえよ』って蹴って大暴れして、結局15分くらい選んでたらしいのよ(笑)。でも、誕生日だからフロアのお客さんは割と温かい目で見えてくれたらしいけどね。

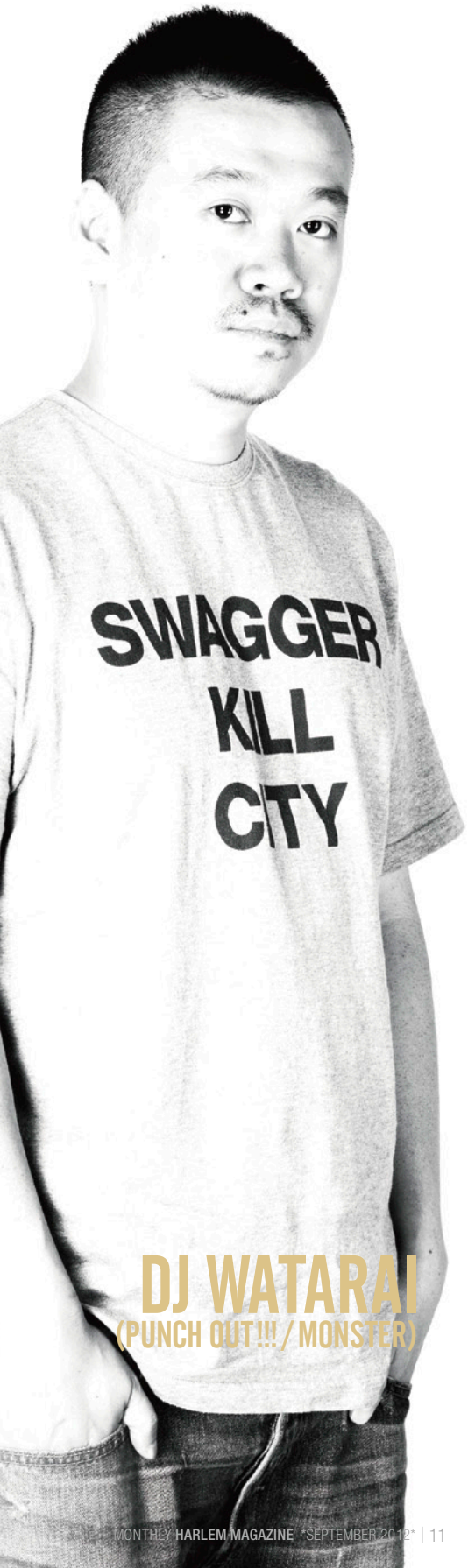
HAZIME：僕もそういうのは1回しかないですよ。誕生日か何かの時にベロベロになってDJやってたんだけど、使ってるレコードは全部TAIKIくんのだったっていう(笑)。俺は全然気にしてなかったし、やってる時の記憶が薄らあるの。だけど、後からTAIKIくんに『HAZIME、あれ全部俺のレコードだよ』って言われて。真隣に置いてあるのに、全部TAIKIくんのを使ってたっていう(笑)。

SAH：俺は、最近特にヒドいっすね。

HAL：僕も、あり過ぎて言えないです(笑)。

●この先、DJから何かを発信していくという状況が整っていくと思いますか？

HAZIME：発信っていう部分に関して言うと、DJが発信しなくなったらマジで終わりだと思っているんだよ。新しい曲をかけるにしても、古い曲をかけるにしても、発信できないヤツは受け身のDJだと思ってる。誰かがかけたからかけるとか、そういうDJにはなりたくないと思うし、そういう受け身のDJが増えていっちゃったらどんどんつまらなくなるからね。俺は昔も今も、クラブのDJっていうのはお客さんに曲を紹介する立場だと思っていて、『こういうのもあるんだよ』って発信するのが重要な役割だと思うから、俺に関してはこの先も変わらずや



DJ WATARAI
(PUNCH OUT!!! / MONSTER)

り続けたいと思うね。環境が整う整わないの問題じゃなくて、環境が整ってなくてもやらなきゃいけないと思うし、それをしなくなったらクラブじゃないんじゃないかなって思う。ディスコと一緒に、お客さんが知ってる曲だけかけたり、リクエストを受け付けて『じゃあ、これかけます』になっちゃうんじゃないのって思うよね。

SAH：クラブDJなんで、発信していく部分は大切だし、逆にみんなが楽しめる部分も大切で、そのふたつのバランスを上手くとりながら自分にしかないバイブスを出していけたらなって思いますね。

WATARAI：HARLEMのお客さんって凄く特別で、自分が発信しつつ、意外とお客さんに引っ張られる部分も大きくて。お客さんが作っているHARLEMっぽい曲ってあると思うんだよね。曜日に限らず絶対にかかる曲があって、『この曲はHARLEMだ』っていうのがずっとあって。DJとお客さんで作ってる唯一の形というか、HARLEM発信ができてくるものがあるって、15年やってずっと思うんだよね。

HAL：同じ曲でも、HARLEMで聴くのと他で聴くのだと違ったりするんですよね。天井が高くて、フロアが真っ暗になるクラブってあんまりないと思うんですよ。HARLEMって、ホントに『音楽聴け！踊れ！』って感じのフロアで昇天できるクラブだと思うから、そこでやれることも凄く嬉しいですし、この空間だから起きるミラクルも絶対にあると思うんで、それを常に出せたらなって思いますね。今って、ホントに色んな人が遊びに来るようになったと思うんですよ。音楽が簡単に手に入るようにもなったのもそうだし、ゴールデンタイムでダンス番組やるようになったりして、今までになくテレビで使われる頻度も増えたり、クラブミュージックっぽい要素がどんどん入ってきてるし。踊れる子も増えるだろうし、小さい頃から音楽に接している子も増えるだろうから、音楽好きの人口が増えると思うんですよね。その中で僕たちがDJをして、HARLEMっていう箱を通して自分たちが発信するDJスタイルを伝えていければ、絶対にいいものになると思いますね。

●読者にメッセージをお願いします。

HAZIME：当時のHARLEMの雰囲気がちよっとでも伝わればいいかなって思ってます。古い曲だから、その曲自体も知らない人がいると思うけど、『こういう曲があるんだ』って知ってもらだけでもいいかなって思います。

SAH：オフィシャルでやるのは初めてなので、今までDJ SAHを知らなかった人にアピールできるいい機会だと思ってます。HARLEMのDJの代表としてもやっているわけなので、マチカいないものをお見せできればと思っています。

HAL：4人でオフィシャルを出せる喜びが凄くあります。いい意味で同じ土俵に立たせてもらえたり、『イケてるじゃん』って思われたいので、気持ちを込めて作ります。皆さんメチャ多忙ですけどツアーとか出来たらかなりヤバイし、これをきっかけに拡がる可能性に期待しています。宜しくお願いします。

WATARAI：今までも、何かのタイミングでノベルティのCDとかはやってきたけど、今回みたいに、ひとつのクラブの15年間の音楽の歴史が詰まったCDはなかなかないので、是非聴いてもらいたいと思います。 [1]

HARLEM 15TH ANNIVERSARY MIX CD

Mixed by
DJ HAZIME / DJ WATARAI
DJ HAL / DJ SAH

“Exclusive 2CD”
Released in September Coming Soon...



DJ SAH
(PUNCH OUT!!! / SUNDAY DELIGHT)

DJ HAL
(PUNCH OUT!!!)

The Week End PlayList

Selected by DJ HAL, DJ SAH
from Every Friday Party “PUNCH OUT!!!”

by DJ HAL

“Roll The Dice” The Cataracs



踊れる！個人的にもかなりヘビープレイ中です！Far East Movementの代表作も手がけてる彼らのサウンドは新世界な発想で毎回やられてます。今回もバッチリ！ビュンビュンに跳ねてるシンセがバッチリ踊れちゃいます。

“Triumphant (Get 'Em)”



Mariah Carey feat. Rick Ross & Meek Mill

「Jermaine DupriとMariah」ってやっぱり落ち着きますね！そして専属シェフを雇ってるRossさんとRock Nation & MMGの最強のバックがついてるMeek Mill。まさに成功を物語ってる豪華なメンツでブレイク間違いないですね！曲調も爽やかで気持ち良い中に壮さを感じさせる1曲です！

“Mind Your Manners” Chiddy Bang feat. Icona Pop



Pop感が強めの中にOld Schoolと普通に小学生的なElementary School感を感じさせるキャッチーな曲。パバーンパバーンとか子供が言うから全然有り！“Opposite Of Adults”がゴールドを達成する大ヒットとなり、かなり注目されている二人。顔デカいPV流行ってるよねーって、それです！

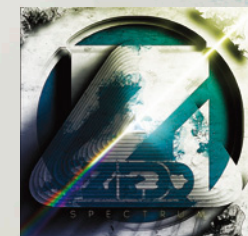
“Bad - Afrojack Remix”



Michael Jackson

BADが25周年という事で新たにリマスター版が出るマイケル好きにはたまらないビックニュースです！未発表曲も6曲収録されるとの事でかなりワクワクしてます。その中でも結構前からリークされてたAfrojack Remix、こちらかなりオリジナルの雰囲気を壊さずにいい感じにAfrojackワールドへ引き込む展開力に圧巻！流石です！

“Spectrum” Zedd feat. Matthew Koma



最後はこれ！今年の夏かなりお世話になりました！イントロのパンチくらいから一気にメロディアスな演出を聴くとフェスに居るような幻想な気持ちになれる本場に素晴らしい曲。サビも日本人のドツボな感じで100点満点です！まだまだ年末に向けて盛り上がり行く曲だと思うので是非知らない人はチェックしてみてください！



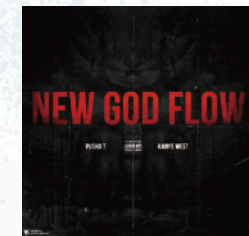
by DJ SAH

“Based on a T.R.U. Story” 2 Chainz



2012年の目玉の1つと言っても過言ではない彼のデビューアルバム。フィーチャリング、プロデューサーには今のシーンを代表する豪華メンツが集結！これだけでこの作品の力の入れ方が分かります。“No Lie”等のシングルカットもされていますが、とりあえず全部聴いて欲しいので今回はアルバム1枚を選んできました。2 Chainzワールドに引き込まれる事間違いなし！

“New God Flow” Pusha T & Kanye West



Kanye率いるG.O.O.D Music所属の彼の動きが最近バイヤーです。哀愁漂うトラックにGhostfaceの“Mighty Healthy”のフレーズをサンプリングしたフックから始まりませ。相変わらず良い声してますね。中盤ではWeezy率いるYMCMBをディスってます。そして、アウトロで“G.O.O.D. Music”とカニエが歌う部分が最高すぎる！ここだけでもかけたいぐらいのパンチ力！最後まで抜け目ない感じでバッチリですね。

“3 Kings” Rick Ross, Dr. Dre & Jay-Z



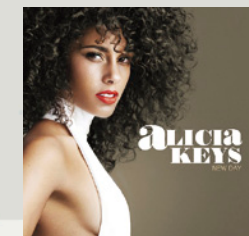
Rick Rossの新作“God Forgives, I Don't”からの話題曲！イースト、ウエスト、そしてサウスを代表するビッグ3の共演！これだけでもHIP HOPファンなら絶対にチェックしないとマズイ作品です。ただ、個人的にはクラブ受けはちょっと難しいかなって感じますが、HIP HOP賛歌としてプレイしたいと思っています。

“Big Booty” CASH OUT



“Cashin' Out”が大HITした彼のNEWシングルです！正直一発屋かなあって思ってたんですが、全然そんなことなかったみたいです。決してハデな曲ではないですが、田舎臭さ全開のイナタイ感じが◎。聴けば聴くほどハマっちゃいます。そして何よりかけ易いときた！意外とクラブHIT狙える要素を持ち合わせているかも？要チェック！

“New Day” Alicia Keys



この曲は、もの凄いスピードでお客さんに浸透した気がします。50セントのバージョンも出ましたが、断然オリジナルが良いです！トラックもメロディーもリリックも完璧！スウィズ & アリシア夫婦が作り上げた極上の1曲です。久々にこんなポジティブソングを聴いた気がします。“パリピボセイ〜パリピボセイ〜エ〜イツ ニュ〜デーイ！”クラブで楽しんで新しい1日を迎えましょう〜。

HARLEM GIRLS SPOTLIGHT



まりこさん、あみさん《ハーレム大好き♡》



あさみさん、ななさん《はーれむ大好き!! だら上がる!!》



ジニーさん、あみほさん《たのしー♡ さいごー♡》



きゅう太郎さん、みささん
《全てにおいてワイルドだぜ!! ♡サイコーです!》



MAO☆(YellowBarbie)さん
《HARLEM大好き♡ 心な顔があって好きです☆》



まゆさん、ひかるさん《ハーレムサイコー!!》



あやさん、あゆさん《DJ最高↑↑↑》



ともたんさん、かすたんさん《HARLEMさいごう♡》



たまさん、かなさん《いつもお世話になってます!!》

KIRIN工場見学ツアー

〈前編〉

Written by B.A.B.A (HARLEM STAFF)

夏と思ったらビール! 暑い日にキンキンに冷えたビールをグビグビと飲んだ時の、あの喉ごしと爽快感…。最高の瞬間です!!! ビール樽を使った筋トレではアニキたちを震撼させてしまったこともある、バーテンダー界のコロケことB.A.B.Aです。

HARLEMでも夏はビールの売れ行きがとんでもなくアップし、ランキングでも堂々の第1位を獲得。怒濤の『ビールフェア』も現在2ヶ月連続で絶賛開催中です。そんな中、これまた絶妙のタイミングであるお誘いが。それは、我々が日頃お世話になっているKIRINさんから「ビール工場を見学してみませんか?」というもの。話を聞くとビールの製造工程などを目の前で見ることができ、そのうえ最後にはできたてのビールを試飲できるという、この時期にぴったりの最高のツアー! 「これは行くっきゃない!」とビール好き＆酒好きのスタッフ(ほとんど全員)を集め『大人の社会科見学』を決行しました。

待ちに待った当日はまさに『ビール日和』といってもいいくらいの超猛暑日。とはいえ、高すぎる気温、前日の疲れと、昼の2時という早すぎる集合時間に、早くも危ない空気が…。「早く俺たちにビールを飲ませてくれ!! メーン!!」という猛者の目を気にしつつも電車に乗り、横浜方面に出発。到着駅は『生麦駅』。なんとビール工場が生麦駅にあるんです。ちなみに「生麦」だからビール工場を作ったわけではなく、立地を考えた上での偶然らしいです。生麦駅到着後、早速キリン横浜ビアビレッジのビール工場へ。KIRINという大きな会社だけでなく、そんじょそこの建物とは圧倒的に違う存在感。建物内に入れば、フワッと香る麦やホップの原料の香り。まさに「ビール」な香りにさらに飲みたい衝動にかられ、我慢の限界がきたスタッフ2人は目の前の看板広告で仮想で飲んで気分を紛らわす(笑)。

お世話になるガイドさんに挨拶をし、いよいよ工場見学スタート。

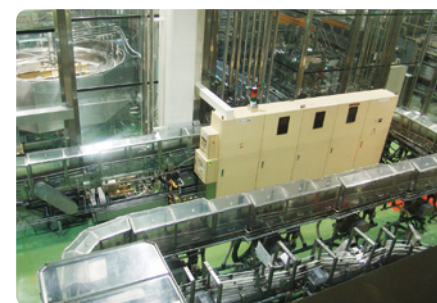
まずは、ビールの原料となる麦芽・ホップ・酵母・水について教えていただきました。この一つ一つの原料は、海外の様々な地域の中から、その

年に取れた一番いいものを厳選して使用しているとのこと。実際に手に取って嗅いだホップの匂いは意外にキツイもので、ビールの香りや匂いを連想させます。

次に製造工程ゾーンへ。ビールの製造は①製麦、②仕込み、③発酵、④貯蔵、⑤ろ過の順番で行われていきます。発酵や貯蔵に使われているタンク一つ一つがとんでもなく大きく、一回の仕込みで作られるビールの量は、350ml缶を毎日1本飲む計算だと1000年以上かかるほどの量だそうです。「飲みたい…。一生に一度でいいから、このタンクの中のビールを浴びながら死ぬほど飲んでみたい…。」そんな衝動にさえかられる一同。果たしてできたてのビールまで無事に辿り着くのか…。

さて次はパッケージ工程です。缶本体に印字機で缶の底に製造時期などを印字し、ビールを詰めしていく工程です。なんとKIRINの工場では1分間に2,000缶も製造しているんです! 猛スピードで印字され、猛スピードで缶詰めされる様はまさに一大スベクタクル! 目の前で超高速で大量に完成されていくのを見る一同。男たちのロマンが詰まったビールを見て、僕は胸(ハトムネ)が熱くなった訳で…。「母さん、生まれて来て本当に良かった…。ビールが飲みたい…。」

さて今はここまで。続きは来月です。まだまだ暑い日が続きます。キンキンに冷えたビールを用意してお待ちしていますので、HARLEMに来た際は、是非ビールを飲んでみてくださいね!!



FEATURE INTERVIEW:
DJ CAUJOON (Monsta Vibes)
from NAGOYA

■BX CAFE “SOUL FOOD”への初出演、プレイを終えてのご感想をお願いします。
まずはHARLEM & BX CAFE関係者の皆さん、遊びに来てくれた皆さんありがとうございます。今回は、BX CAFEでは初めてプレイさせてもらったんだけど、ブラックミュージック全開なお客さん達にかなり楽しませてもらいながら、自由なスタイルでバイブスを交換出来ました。いい感じの60min.でした。ニューシットはたいがい何処でプレイさせてもらっても、ロックオンなのは当たり前としても、むしろHIP HOPクラシックスがビックリするくらい盛り上がってたんで、その辺りもかなり楽しかったです。DJ下拓くんと大阪時代の旧AZUREぶりだったんで、懐かしい懐いセレクトを挟んでくるプレイに、フロアで飲みつつ、僕もお客さんと一緒にロックされてましたね。音楽の内容やパーティー感、色んな意味でかなりナイスパーティーでした。

■今回のROAD TO “BRAND NEW MIX CD VOL.100” CLUB CERCUIT 2012 JPNを振り返っていかがですか？
今回、僕が周らせてもらったクラブは何処行っても凄く盛り上がってました。クラブカルチャーやお客さんのパワーが年々凄い事になってきてるのを実感したツアーでした。もちろん全て全開に楽しめましたよ。とにかく、毎年の事ですが、ツアーに協力してくれた全国のみんなに感謝です。DJ目線ですら、引き続き時代の変わり目でもあるなっていうのが一番の感想です。HIP HOPパーティーが時代の変化と共にREGGAEやポップス、エレクトロ、ベースミュージックを取り入れて進化してく中で、今年は更に独創的でフレッシュなプレイがフロアを盛り上げた印象です。もちろん純度の高いHIP HOPセットも問答無用でガチ上ってましたよ。

■本拠地・名古屋を離れ、毎年日本中をツアーする事に特別な思いはありますか？
あります。一人で日本中を周るツアーは今年で6年目になります。僕にとってルーツであるHIP HOP、REGGAE、クラブカルチャーは、やっぱり何処まで大きいマーケットになっても、フッドカルチャーなんですよ。だから色んなエリアで独自に発展してきたクラブカルチャーやDJ達のスタイルを見たり聴いたりしたいし、それをバクするというよりは、自分しか出来ないスタイルでアレンジをしながら、更にいいプレイが出来る様になりたいっていうのはずっとあります。一箇所にじっとしてたら思いつかないようなDJのスタイルを求めているから、色んなタイプのパーティーでプレイしたいですね。確実に僕の場合はビジネスより探究心が先に立ってるんでしょうね。
あと、ツアーされているアーティストやDJの方はそういう人が多いと思うんだけど、音楽を通して各地のパーティーピープルと出える事もやっぱり嬉しいですよ。『同じカッツするDJがここにも居たね〜』とか。

■ツアータイトルにもなった “BRAND NEW MIX CD”はVOL.100に到達しました。現場の活動と並行して作品を制作する事に強いこだわりを感じます。
ミックスを作り始めたきっかけは、映画の“Juice”です。その頃はミックステープ（以下ミクス）でした。ゲットしたばかりのレコードをプレイしてテープに録音して、学校の仲間に5ドルで売る場面や、クラブでのDJバトルで勝ち上がっていく場面、当時かなりくらいましたね。だから、ミクス、クラブプレイどっちかだけじゃダメってのは、自然と最初からのこだわりみたいなものになってましたね。その後しばらくして、地元レコ屋で働いていた時、自分のミクステをショップに置いてもらう事なんかも勉強させてもらったりしました。今はかなり変わってきた部分もあると思うんだけど、ミクスやクラブプレイは、ビジネスでもあったけど、僕にはDJとしてのプロップスを浴びる場所でしたから、常に力作を作りたいて思っていましたよ。今もそのスタンスは変えてないですね。もちろんミクステを作る作業は、より音楽を細かいところまで聴く事になるから、DJとしてはメリットが多いですね。単純に大好きなんですよ、ミクステを作るのも他のDJの作品を聴くのも。気がついたら、新譜シリーズでVOL.100、企画モノも含めると200タイトルぐらいになるかな。みんなの耳に届くメディアの形はこれからも変化していくと思いますが、クラブでプレイしていく限り、ミックスはガンガン作っていきたいと思っています。

■最近の名古屋のシーンの状況を教えてください。
名古屋シーンには今も昔も、偉大なアーティストやリスペクト出来る先輩DJ達、独創的でストイックなクリエイターが沢山います。ヤバイ事だと思ってます。他府県でプレイさせてもらう時は、やっぱりそんな名古屋シーンをレベゼンしてる緊張感は大事にしたいと思っていますよ。
ここ最近のクラブシーンについては、新時代が到来してるなって感じます。ニュークラブもオープンしたり、内容的な変化もかなり早いですね。ディスクとクラブの境界線もかなりボーダレスですから、各クラブみんな個性を前面に出して、イベントやっていますね。地方に居ながらにして、色んなタイプのハコでやれるんで、恵まれてるなって思うし、DJとしてやり甲斐ありますよ。とにかく、どのクラブもいい感じに盛り上がってます。
最近週末のデイパーティーなんかもやっていきたいと思っています。

■今後の展望を教えてください。
最近、2ターンテーブル＆スクラッチライブを使うプレイの形以外にも、新しい機材を使ったパフォーマンス、クラブパーティー以外でのDJの活躍の場所にも興味を持っています。もちろん前述したデイパーティーなんかもそうなんですが、この何年かでパーティーやDJはこうじゃなきゃって固定観念が薄れてきた事が大きいと思います。個人的なDJ達がクラブシーンでの活動を拠点にしながら、もっと色んな場所に飛び出していったらいいなって思ってます。楽曲やミックス作品のオフィシャルリリース、海外のクラブシーンでの活躍も含めて。

■最後に全国の読者へメッセージをお願いします。
まだまだ行った事ない都市も沢山あるから、機会があったら是非プレイしに行きたいと思っています。作品の方もばっちりチェックして、是非生のプレイを聴きにきて下さい！
応援よろしくお願いします!!



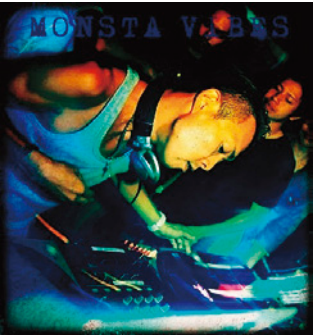
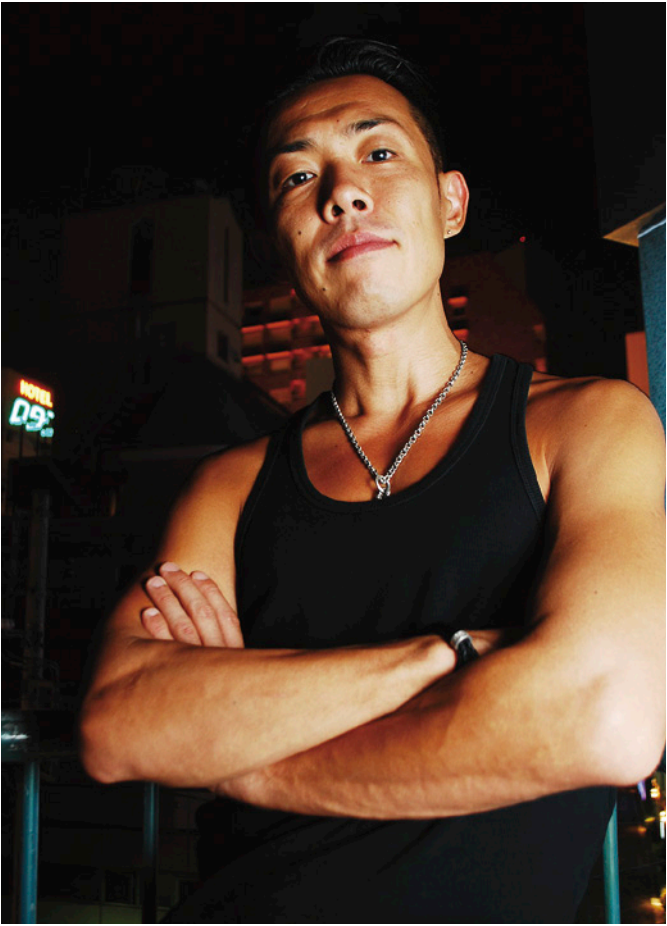
Facebook
hiroki.asanuma.caujoon



BLOG
http://ameblo.jp/djcaujoon/



Twitter / Instagram / Viddy
@CAUJOON



“Pride N Joy”



“Mare139”



“MACrew”



“Doze”



“Kiam”

Edited by Yas 5 All photos provided courtesy of Yas 5th
Special thanks to Tats Cru, Nicer, Bio, BG 183, How, Nosm, RAL, Brim, Kenn, Shame 125, Vulcan, Just 195, Totem 2, Lazoo, Kongo, Juan, Gokan, Pwoz, Vision, Soklak, Mac Crew, Jazi, Won, Shame, ABC, Dmote, Daze, Crash, Lady Pink, Smith, Seen, Duster, Mare139, Nasa Crew, Zedz, Doze, West, Dash, Wane, Nesm, Claw, Cycle, Dub, Arab aka Doc, FC, TC5, FBA, Enue, Chino BYI, Mark Bode, Lady Tribe, KR, Daim, East 3, Ces, T-Kid, Noe Two, BCF, Mist, Saber, Rime, Revok, MSK, Jank, Kiam, Kosmopolite, Meeting Of Styles, Overkill, Whole Train, Style Wars, Creative Color, Montana Hardcore, Montana 94, Posca, Krylon, Painter's Touch, Ironrak, Crash Paint, Molotow, Krink, Blubber Colors, Rust-oleum, World Piecebook, Chilli
yas5ive@f7.dion.ne.jp

BX FOOD

BXCAFE



※ラインナップは日によって異なります。／ “BX FOOD”の販売はBX CAFEオープン時のみとなります。



渾身の音世界。

NE-YO

New Album

『R.E.D.』

2012.10.31 日本先行発売

シングル「レット・ミー・ラヴ・ユー」
produced by スターゲイト

♪ iTunes Store®/moraにて先行配信中

日本盤ボーナス・トラック収録!



ne-yo.jp

ALLOWS

<http://allows-tokyo.com/>



HARLEM
www.harlem.co.jp

【募集職種／アルバイト】
[1] バーテンダー：バーで飲み物を提供します。
[2] ホール：灰皿交換などホール全般のお仕事です。
[3] 音響・照明：機材回りの管理、音響と照明のオペレートです。(経験者優遇)
[4] キャッシャー：フロントでお金や備品の管理など事務的なお仕事です。

■勤務地：CLUB HARLEM (渋谷区円山町)
■勤務期間：6ヶ月以上長期で働ける方歓迎。
■勤務時間：20:00～翌6:00 シフト制
週3日以上で応相談
■待遇：交通費支給(1万円迄)、制服貸与、食事補助、昇給随時
■給与：時給900円以上、試用期間3ヶ月は時給850円
■条件：20歳以上30歳位迄。未成年不可。
※応募の方は、いずれもホームページ/携帯サイトからエントリーして下さい。

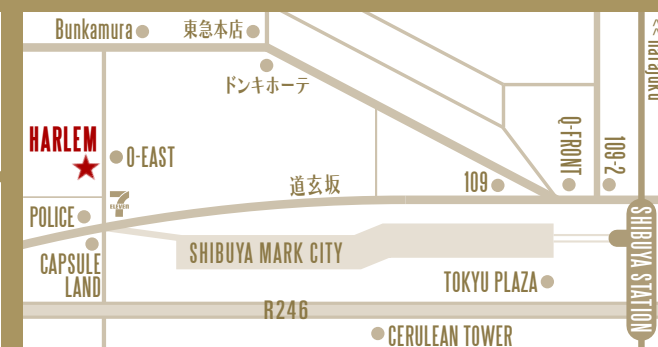
HARLEM MEMBER

GET THE HARLEM 2012

エントランス/ドリンク・ディスカウントなど、
おトクな特典づくし!

[MOBILE] >>

未登録の方は今すぐ!! [PC] <http://www.harlem.co.jp/harlem/recruit.html>



DR. Jeekahn's 2F, 3F, 2-4 Maruyama-cho, Shibuya-ku Tokyo, 150-0044 JAPAN Phone. 03-3461-8806 e-mail. otaken@harlem.co.jp

● ご注意 ●
※HARLEMでは未成年の方のご入場は固くお断りしております。
※ご入場の際には、写真付の身分証明書の提示をお願いしています。予めご了承下さい。

MONTHLY "HARLEM MAGAZINE"
SPIT'EM OUT!
"It's Absolutely Raw"

This Magazine gives y'all Hip Hop Headz
the Real Words from the Real Scene...

Volume.054・Issue.181・SEP.2012

Publication: Otanoshimi Kenkyujo Inc. 6F, 2-1-10 Ebisu-minami, Shibuya-ku, Tokyo 150-0022 Japan Tel. 03-5768-4910 Fax. 03-5767-4912 e-mail. otaken@harlem.co.jp
Editor in Chief: Atsushi Nukazawa Editor: Akiko Sasaki, Nobuhisa Mikasa, Kohei Tamura, Shoki Sato Art Direction & Design: Takashi Wakamatsu - Camel D.F.
Special Thanks: DJ Watarai / DJ Hazime, Hal, Sah / KIRIN / DJ Ryo, Alamaiki / DJ Caujoon / Yas5 / B.A.B.A. / Ya-man Hirota & All HARLEM Peoples
Contents & Design may not be reproduced without the express permission of the Publisher. ©2012 Otanoshimi Kenkyujo Inc. All rights reserved. Printed in Japan.



■8月中旬にM点灯なんていつ以来?! 日本一奪回へ向け勝ち続けてもらいたいです。WBCは不参加なんだろう? [ピカール]
■重なりますね、色んなことが、通わなきゃいけない病院がまた一つ増えました。[ピーノ]
■おっちゃん4年毎に涙腺緩んでいく。しかしザギンのアレはなんだからー [うに?]
■千葉 千葉千葉千葉千葉秋川千葉千葉生麦勝間葛張。千葉が全く足らん。チバチバ [t.n.t]
■高橋由伸通算300号本塁打に号泣。秋川BBQにて輝いた弘田シェアの「職人魂」。「東京湾の奇跡」を今後に繋げなければ。[10番長]
■さてドラマチックな秋と共に今期を左右する試合が多くなるぞ! 頑張れ清水! [RYUGI]